

『Mind Charging』

第 85 回 発行：入試広報室 発行日：令和 2 年 7 月 21 日

ジャック・ウェルチの名言



Don't lose yourself on the way to the top.

頂上を目指す途中で、自分を見失ってはいけない。

この言葉の頂上とは目標達成のことだと推測できます。目標達成のために努力することは非常に重要なことです。その目標が自分にとって高いものであればあるほど必死になって努力すると思います。もし、残念ながら目標達成に至らなかったとしても、夢中になって努力した経験や、得ることができた知識などは必ず自分の力となり、次の目標設定や達成への近道となってくれるはずです。

以前も述べたことがあります。私たちは一人では生きていくことができません。必ず誰かと関わりを持ちます。無我夢中になりすぎて自分を見失うということは、同時に自分を支えてくれる人々の存在も見失うということです。自分以外の誰にでも、やはり目標というものが、誰かを支えながら誰かに支えられて日々を過ごしています。“お互い様”の関係なくして良好な人間関係は築くことは不可能です。

無我夢中で走り続け、目標達成の瞬間に仲間と喜びを分かち合おうとした時、『見渡したら誰もいなかった…。』こんな悲劇には私なら耐えられないと思います。最大限の自分の努力を自ら否定するようなことはしたくはないですね。『でも、100%未満の努力では目標達成はできない』と思うかもしれませんが、考えてください。仲間の存在やパワーがプラスされれば100%を超えるわけです。“他喜力”という言葉がありますが、私たちにとってそれが無限のエネルギーになり、歓喜の瞬間を多く生み出してくれるものと信じています。(編集委員：入試広報室 鈴木)

ジョン・フランシス・“ジャック”・ウェルチ・ジュニア(John Francis “Jack” Welch Jr., 1935年11月19日 - 2020年3月1日)は、アメリカ合衆国の実業家。1981年から2001年にかけて、ゼネラル・エレクトリック社の最高経営責任者を務め、そこでの経営手腕から「伝説の経営者」と呼ばれた。マサチューセッツ州ピーボディアのアイランド系カトリック教徒の家庭に、ポストンメイン鉄道で働く車掌ジョンと主婦グレースの子として生まれる。1957年にマサチューセッツ大学を卒業。その後、1960年にイリノイ大学で博士号を取得し、同年、ゼネラル・エレクトリック社に入社した。最初の年収は10500ドルだった。

(Wikipedia 参照)